

コメント

特にありません。

なお、定点医療機関の年末年始休診の影響のため、全般的に報告数は少なくなっています。

4類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	平均 過去3 年間 (注1)	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	平均 過去3 年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ	469	12.68	3.03		麻疹(注2)	-	-	0.01	
咽頭結膜熱	-	-	0.01		流行性耳下腺炎	9	0.38	0.90	
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	8	0.33	0.39		急性出血性 結膜炎	-	-	0.04	
感染性胃腸炎	52	2.17	6.35		流行性角結膜炎	3	0.38	1.71	
水痘	20	0.83	2.67		急性脳炎(注3)	-	-	-	
手足口病	5	0.21	0.07		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	0.10		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.05	
突発性発疹	4	0.17	0.50		マイコプラズマ 肺炎	2	0.29	0.10	
百日咳	-	-	-		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	-						

今週は定点医療機関の年末年始休診の影響が考えられ、発生記号は特に付けていません。

急増減			前週と比較しておおむね 1.2以上の増減
増減			前週と比較しておおむね 1.1.5~2の増減
微増減			前週と比較しておおむね 1.1.1~1.5の増減
横ばい			

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)  
小児科定点数 24  
眼科定点数 8  
性感染症定点数 9  
基幹定点数 7

(注1) 過去3年間の同時期平均(定点当り)

(注2) 成人麻疹を除く

(注3) 日本脳炎を除く

(注4) オウム病を除く

1類~4類感染症報告状況(全数把握対象分)

報告はありません。

#### 4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹(注1)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎(注2)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(注3)	成人麻疹
広島市	654	1	26	287	59	24	1	23	-	-	1	-	31	-	7	1	-	1	1	-	-
広島市	911	1	19	201	57	14	1	12	2	-	-	-	16	-	9	1	-	-	-	-	-
広島市	469	-	8	52	20	5	-	4	-	-	2	-	9	-	3	-	-	1	2	-	-
広島市	17.68	0.04	1.08	11.96	2.46	1.00	0.04	0.96	-	-	0.04	-	1.29	-	0.88	0.14	-	0.14	0.14	-	-
広島市	24.62	0.04	0.79	8.38	2.38	0.58	0.04	0.50	0.08	-	-	-	0.67	-	1.13	0.14	-	-	-	-	-
広島市	12.68	-	0.33	2.17	0.83	0.21	-	0.17	-	-	0.08	-	0.38	-	0.38	-	-	0.14	0.29	-	-
広島県	13.28	0.17	1.33	11.23	2.13	0.65	0.09	0.79	0.04	0.03	0.04	0.03	0.85	0.05	0.95	0.05	-	0.05	0.10	-	-
広島県	21.18	0.05	0.77	8.61	1.87	0.47	0.05	0.57	0.03	-	0.01	-	0.84	0.05	1.00	0.05	-	-	0.10	-	-
全国	5.22	0.14	1.51	10.94	2.64	0.30	0.26	0.67	0.01	0.01	0.06	0.03	0.87	0.03	0.92	0.00	0.01	0.02	0.23	0.01	0.01
全国	8.71	0.12	1.04	8.08	2.59	0.21	0.22	0.57	0.01	0.01	0.05	0.03	0.70	0.05	0.87	0.00	0.00	0.02	0.18	0.00	0.00

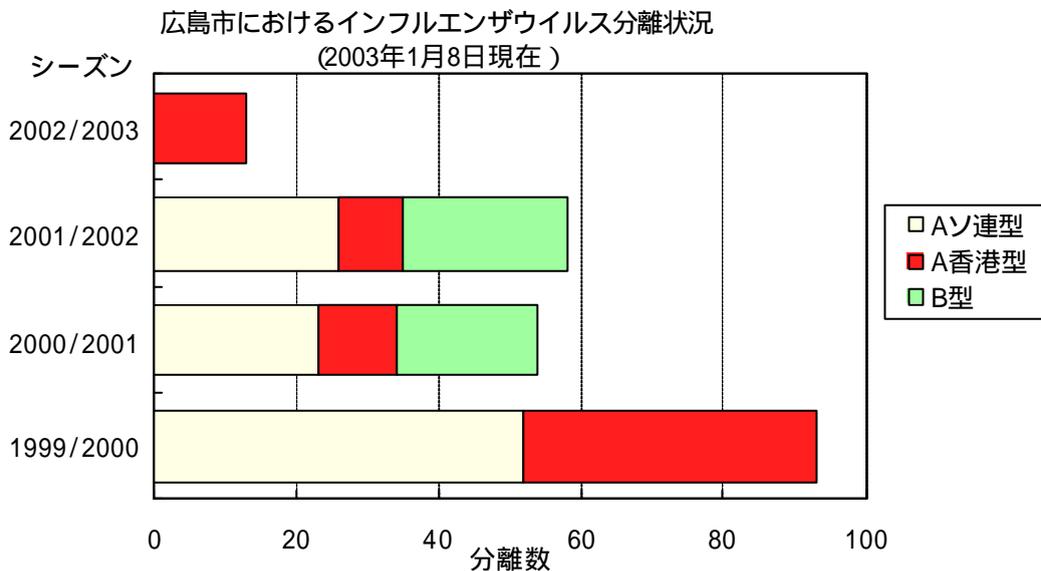
(注1)成人麻疹を除く (注2)日本脳炎を除く (注3)オウム病を除く

#### 新たに判明した病原体検査結果

新たな検査結果はありません。

#### (検査情報) 広島市におけるインフルエンザウイルスの分離状況

広島市における今季のインフルエンザウイルスは、昨シーズンより約3週間早く12月4日の検体から初めてA香港型が分離され、1月8日現在、A香港型ウイルスが13人から分離されています。分離株はいずれも今季のワクチン株であるA/パナマ/2007/99(H3N2)に類似しています。



本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [eiken@city.hiroshima.jp](mailto:eiken@city.hiroshima.jp)

2003年第1週(12月30日~1月5日)